

第2回一宮市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会審議報告

- 1 開催日時 令和4年1月24日（月） 午後2時00分から午後3時30分
 - 2 開催場所 一宮市役所11階 1103会議室
 - 3 出席者 委員10名
井上委員、角崎委員、水主委員、浅井委員、加藤委員、林委員、竹内委員、
近藤委員、佐藤委員、平子委員
事務局15名
 - 4 欠席者 なし
 - 5 公開・非公開の別 公開
 - 6 傍聴者 なし
 - 7 審議内容
 - 議題
 - (1) 令和3年度各事業の実績見込みについて
別添資料「令和3年度第2回一宮市社会福祉審議会高齢者福祉専門分科会資料」について審議した。
- <質疑概要>
- (委員) 計画(値)とは何を基準にした数字なのか。
- (事務局) 市が3年ごとに定めている「一宮市高齢者福祉計画」があり、そこで定めた計画値である。人口についての計画値は、推計値である。
- (委員) ここでいう高齢者とは65歳以上ということによいか。
- (事務局) 介護保険は基本的に65歳以上が対象であるため、65歳以上としている。
- (委員) 元気応援高齢者把握事業で特定健康診査等とあるが、「等」は何を指すのか。
- (事務局) 71歳・74歳は特定健康診査の対象で、77歳の方は後期高齢者の健康診査の対象であるため、その表記とした。
- (委員) 特定健診を受けていない高齢者という認識によいか。
- (事務局) 健康診査を受けていない方ということである。
- (委員) 基本チェックリストとはどういうものか。
- (事務局) 国の決めた25項目の運動機能、認知機能、栄養口腔の状況、生活の状況を尋ねるもので、事業対象者の認定等を行っている。一定年齢の方に送付し、健康状態を把握している。リスクが高いと思われる方には必要に応じて包括支援センターの職員が指導を行っている。

- (委 員) 昨年 12 月の県のシンポジウムで、他市町村の事業が話題になった。介護保険の利用も特定健診の利用歴もない高齢者を対象に、栄養士が訪問して指導を行っていた。地域との関りが無い方に、かかわりを持たせる事業だと思う。今後考えるべきは、独居等の方といかにかかわりを持ち、助けていくかだと思う。
- (委 員) 「うつ・閉じこもり予防事業」、「自動消火器給付事業」は、令和 3 年度は事業を見送っているが、どのような経緯なのか。
- (事務局) うつ・閉じこもり予防事業は、平成 29 年度からあんしん介護予防事業ができたため、利用状況を見ながら見直しが必要だと考えていた。関係者の意見を聞きながら令和 3 年度は廃止した。
- (委 員) 計画の記載はなかったか。
- (事務局) 計画では「介護予防通所介護相当サービス等との整合性を図り、事業の在り方を検討していく」との方向性になっている。
- (委 員) 自動消火器給付事業についてはどうか。
- (事務局) 今後の方向性を「給付の内容について検討を進めながら実施する」としており、検討を進める中で最終的に廃止を決定した。
- (委 員) 高齢者無料入浴事業とはどのような事業か。令和 2 年度から受益者負担 100 円の影響で交付人数が減ったのか、コロナの影響なのか。
- (事務局) 公衆浴場で利用できる助成券を 65 歳以上の方に交付する事業である。令和 2 年度が減った理由は、受益者負担と、コロナによる外出控え両方の要因があったものと見ている。
- (委 員) 100 円負担になった経緯は何か。
- (事務局) 市の事業全体で受益者負担を見直しており、入浴事業も令和 2 年度より受益者負担を導入した。
- (委 員) いきいきセンター、いこいの広場のお風呂とは違うのか。
- (事務局) 高齢者福祉施設は利用料 1 回 100 円を受益者負担としている。
- (委 員) 令和 5 年度目標の「転倒予防教室開催回数」や「ケアプラン点検」について、令和 2 年度の実績からみると目標値に大きく差があるが、コロナが関係しているのか、それ以外に理由があるのか。
- (事務局) 令和 5 年時の目標として設定している。ケアプラン点検については、給付適正化に力を入れるため重点的に推進している。目標値を目指して推進している。
- (委 員) 今後重視して力を入れる数値ということで、目標設定から 3 年間経過した令和 5 年度末の段階でチェックできればと思う。
- (委 員) 令和 5 年度の最終目標に対して進捗状況が分かりづらい。
- (委 員) 令和 3 年度の目標値と見込との数値の比較があれば進捗状況が分かりやすいのではないかと。途中の進捗率が見える指標の方が分かりやすいかもしれない。
- (事務局) 今回の計画は令和元年度の実績に基づき令和 5 年度の目標値を設定している。
- (委 員) この目標に向けて進捗していくものと理解した。

- (委員) 地域包括支援センターへの相談者数について、令和5年度の目標値が令和2年度実績より少ないが、なぜこのような目標値になるのか。
- (事務局) 計画策定の際、令和元年度の実績に基づき令和5年度の目標値を設定している。令和2年度実績がすでに目標値を超えて相談があったということである。転倒予防教室も開催数を増やしていく予定での目標だったが、コロナの影響で教室が開催できず、実績値が低くなった。
- (委員) 15ページ表中の数値は大きくなるとよいという認識でよいか。
- (事務局) 様々な教室への参加で介護予防を促進し、健康になるというものであるため、なるべく多く開催したいと考えている。コロナの影響で現状はこのような数値になっている。
- (委員) 地域包括支援センターへの相談者数の目標値をみると、相談数を増やしていきたいということか。
- (事務局) 相談することがない人が増える方がよいが、地域としてみた場合、悩み事を相談できる場がある方がよいということである。高齢者数は増えており、悩み事を抱え込まず適切な場で相談できるとよいと考え、増やす方向で目標を立てている。
- (委員) 政策目標としては、大きな目標が掲げられており、これを達成するための手段としていくつか施策がある。達成に向けて毎年度しっかり事業が行われたかをチェックするための数字としてそれぞれの指標がある。
- (委員) 高齢者人口、認定率は確実に伸びているが、要介護認定者数が計画値に比べ減少している要因は何か。何年かにわたる計画のため感染症等で多少の変化はやむを得ないが、ある事業の実施により低下に繋がったのならば、そこに注力することが大切である。
- (事務局) 認定者数の令和3年度実績が計画と比べ減少している要因として、コロナの影響で介護の手間が軽い人は認定申請を控えているのではないかと考えられる。総数では減少しておらず、介護サービスが必要な人は、確実に増えている。また、介護予防の推進が認定の減少の要因とも考えられるが、その効果の程度は、つかみきれしていない。
- (委員) 推移と予定が入り混じり分析するのは難しいが、軽い人が申請を控えたという要因も、反対にコロナが落ち着いたら申請が増えるのではないかと考える必要があり、分析をしながら適切なサービス給付に結びつけていくことが大切である。何かの理由で減少に向かっているならば、その理由をしっかりと分析し、そこに注力することで健康寿命を延ばすことができるのではないかと。
- (委員) 訪問介護について、他市と比較して一宮市はかなり高くなっており、危惧していかねばならない問題である。どのように適正化していくのか、具体的に考えている取り組み等あれば教えてほしい。
- (事務局) ケアプラン点検については、訪問介護の回数が多いプランや、有料老人ホーム・サービス付き高齢者住宅の入居者のプランを重点的にチェックするようにして

いる。また支給限度額の利用割合が高く、訪問介護サービスの利用率が高い方のケアプランの検証を行っている。

(委員) 介護保険は必要な人が必要なだけ介護サービスを受けるのは仕方がなく、ケアプランの検証をしても、それが必要な場合は何ともし難い。介護保険施設も含めてサ高住・有料等は「終の棲家」という表現があるように、施設ごとにそれぞれの役割に応じてサービス提供する必要があると思う。他市と比べて訪問介護だけが大きく伸びていることは事実であり、何か要因があるように感じ、どのように適正化していくかを考えなければならない部分があると思う。抑制策としてケアプラン点検だけでは難しい部分があると思う。今後その在り方そのものを考えていくことも必要ではないかと思う。

(事務局) 近隣市町村では、春日井市、小牧市も一宮市と同じ様な状況であり、2市の状況も詳しく調べたい。事業所が多い、有料老人ホームが多いことも一つの要因かと思われるが、これからじっくり検討し精査していきたい。

(委員) 一部の有料老人ホームでは、入居の際に条件付けのようなことをしているところがあり、不適切ではないかと思う。そういうところには適正化を図る必要がある。今後の危惧ということを含めての意見である。

(委員) 訪問介護が突出していることは明らかだが、一方で他市と比べて軽度の認定率や、重度の認定率がやや低くなっているという側面もあり、回数の関係が重度化や健康寿命の長期化にどう関係しているのかも併せて検討する必要がある。その辺りの成果の分析が必要だと思う。

(委員) 訪問介護の回数についての他市との比較はわかったが、費用はどうなっているのか。

(事務局) 介護保険制度で要介護度によって段階別に上限の金額が決まっており、その費用は限度内の金額ということになる。

(委員) 介護保険給付費の推移を見ると金額的には計画の範囲内ということがわかる。認定者数が計画よりも少ないが、給付費はほぼ計画値通りということを見ると、一人当たりの伸びが大きくなっていると推測でき、今後、認定者数が伸びてくると給付費も上振れすることも考えられるので様子を見る必要がある。

(2) その他

次回の高齢者福祉専門分科会の日程について、令和4年夏頃の予定であることを説明した。

令和3年度第2回
一宮市社会福祉審議会
高齢者福祉専門分科会
資 料

令和4年1月24日（月）開催

1. 高齢者人口について

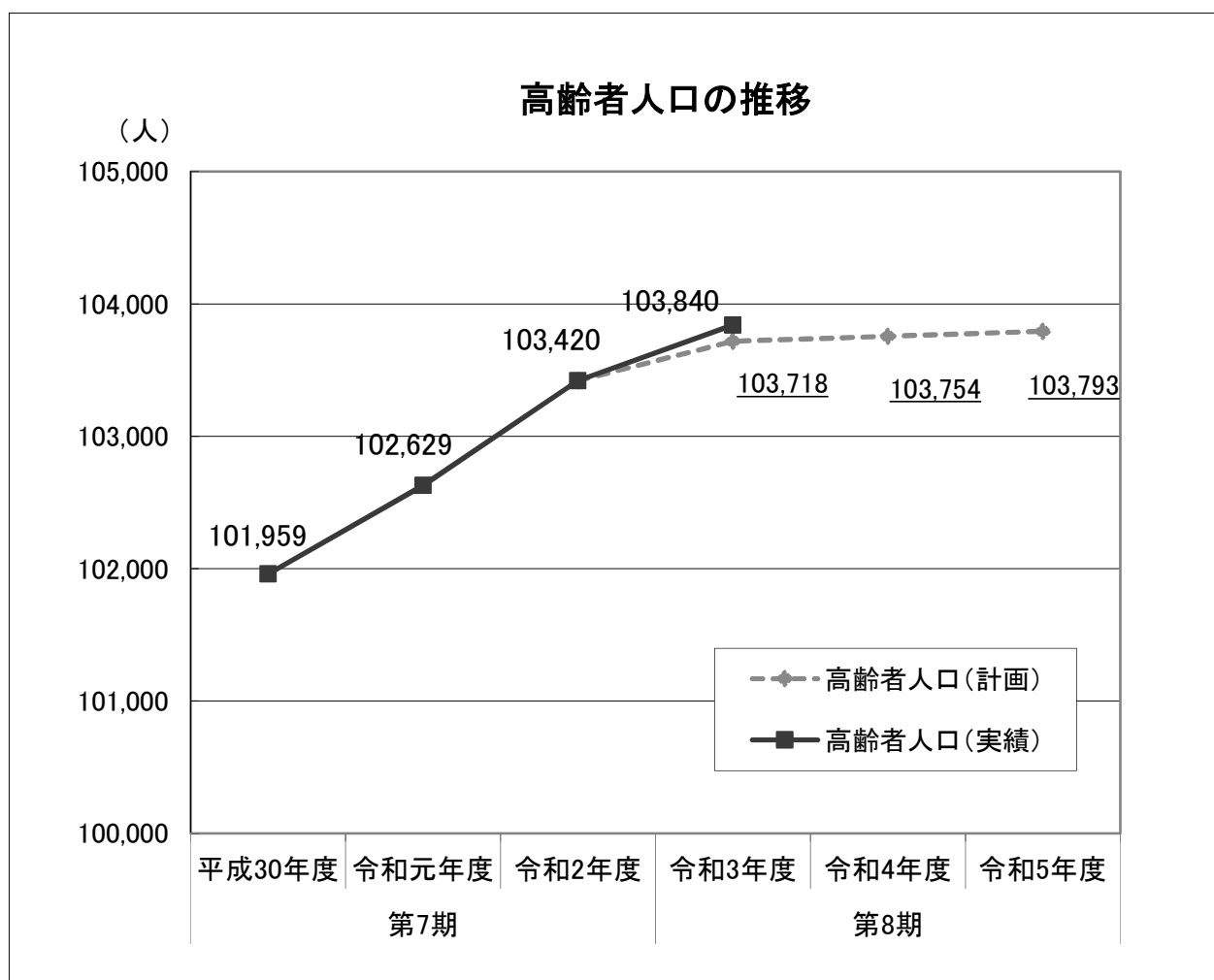
高齢者人口の計画値と実績値

年齢区分	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績	実績	計画	実績	増・△減
総人口 (人)	385,128	384,380	383,447	382,656	△ 791
65歳以上 (人)	102,629	103,420	103,718	103,840	122
75歳以上	53,051	54,353	54,785	54,879	94
65歳～74歳	49,578	49,067	48,933	48,961	28
高齢化率 (%)	26.6	26.9	27.0	27.1	0.1
後期高齢化率(%)	13.8	14.1	14.3	14.3	0.0

※実績値は、市民課発表の各年度10月1日現在の年齢別人口の数値

計画値は、各年度10月1日時点の推計値

※後期高齢化率：75歳以上の人口/総人口

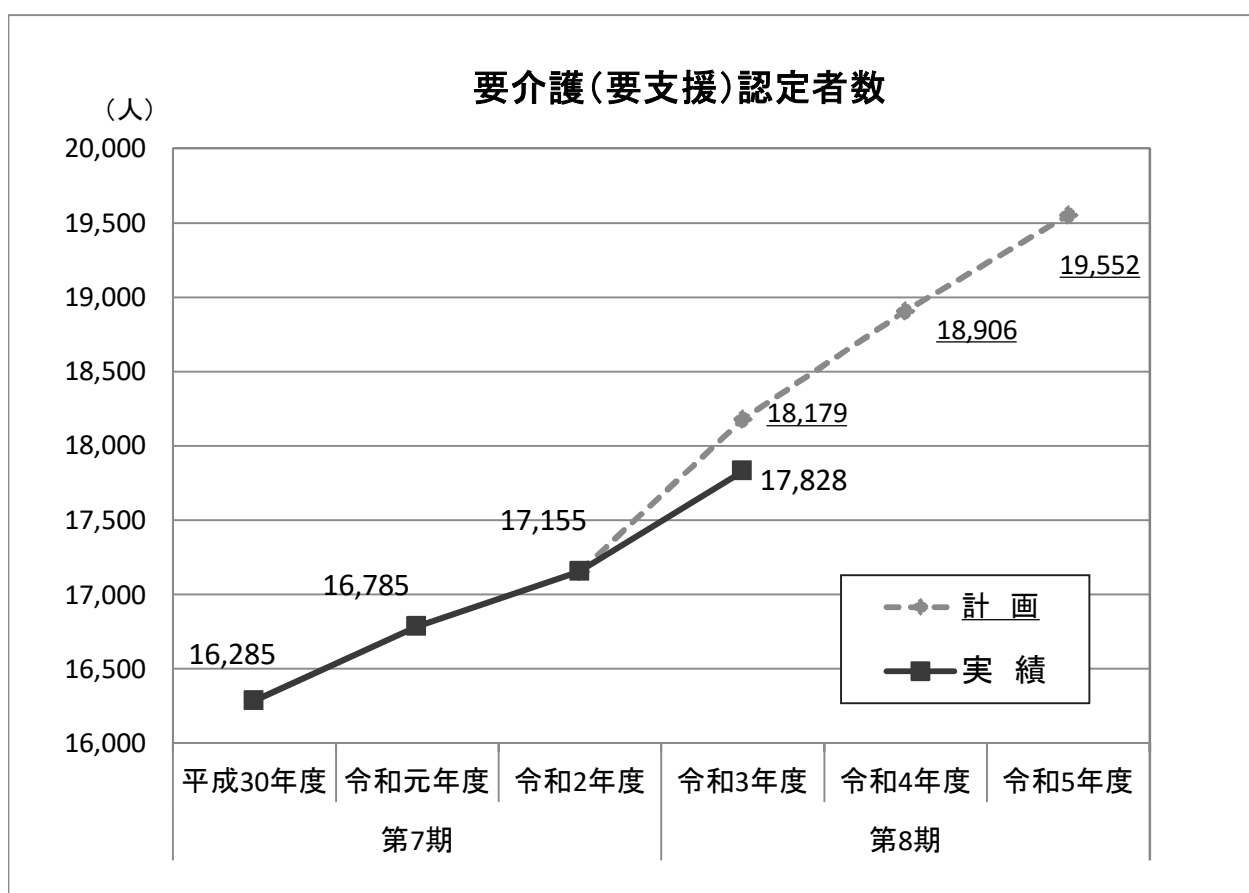


2. 要介護者等について

(1) 要介護(要支援)認定者数の計画値と実績値

	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績	実績	計画	実績	増・△減
要介護5 (人)	1,427	1,462	1,583	1,416	△ 167
要介護4 (人)	1,985	2,090	2,159	2,041	△ 118
要介護3 (人)	2,197	2,250	2,412	2,358	△ 54
要介護2 (人)	3,105	3,235	3,394	3,353	△ 41
要介護1 (人)	3,795	3,728	4,094	3,932	△ 162
要支援2 (人)	2,065	2,284	2,207	2,451	244
要支援1 (人)	2,211	2,106	2,330	2,277	△ 53
総数 (人)	16,785	17,155	18,179	17,828	△ 351
1号の認定者	16,369	16,731	17,760	17,405	△ 355
2号の認定者	416	424	419	423	4

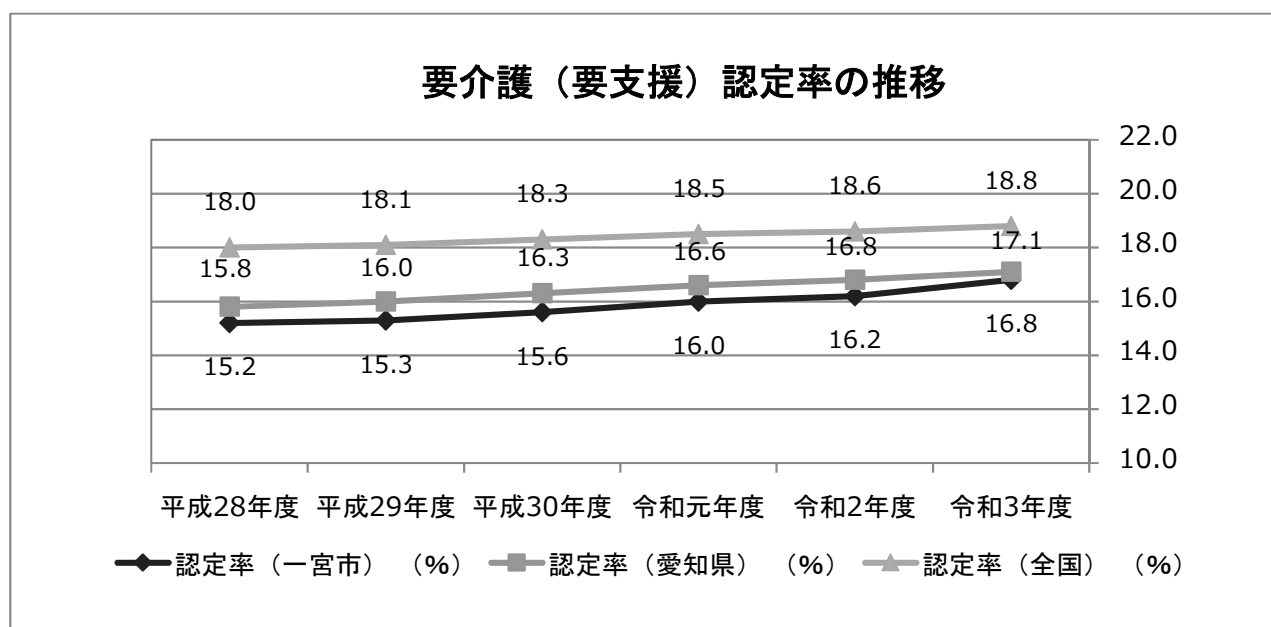
※実績は、各年度9月末における数値



(2) 要介護(要支援)認定率の推移

	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
認定率 (全国) (%)	18.0	18.1	18.3	18.5	18.6	18.8
認定率 (愛知県) (%)	15.8	16.0	16.3	16.6	16.8	17.1
認定率 (一宮市) (%)	15.2	15.3	15.6	16.0	16.2	16.8
要介護 5 (%)	1.4	1.3	1.4	1.4	1.4	1.3
要介護 4 (%)	1.8	1.8	1.8	1.9	2.0	1.9
要介護 3 (%)	1.9	2.0	2.1	2.1	2.1	2.2
要介護 2 (%)	2.8	2.9	2.8	2.9	3.0	3.1
要介護 1 (%)	3.3	3.5	3.6	3.6	3.5	3.7
要支援 2 (%)	1.8	1.8	1.8	2.0	2.1	2.3
要支援 1 (%)	2.2	2.0	2.1	2.1	2.0	2.1

※各年度9月末 (1号被保険者のみ)



(3) 要介護(要支援)認定率の比較(令和3年度要介護度別)

	全国	愛知県	一宮市
合計認定率 (%)	18.8	17.1	16.8
要介護 5 (%)	1.6	1.3	1.3
要介護 4 (%)	2.4	2.0	1.9
要介護 3 (%)	2.5	2.3	2.2
要介護 2 (%)	3.2	2.9	3.1
要介護 1 (%)	3.9	3.2	3.7
要支援 2 (%)	2.6	2.9	2.3
要支援 1 (%)	2.7	2.5	2.1

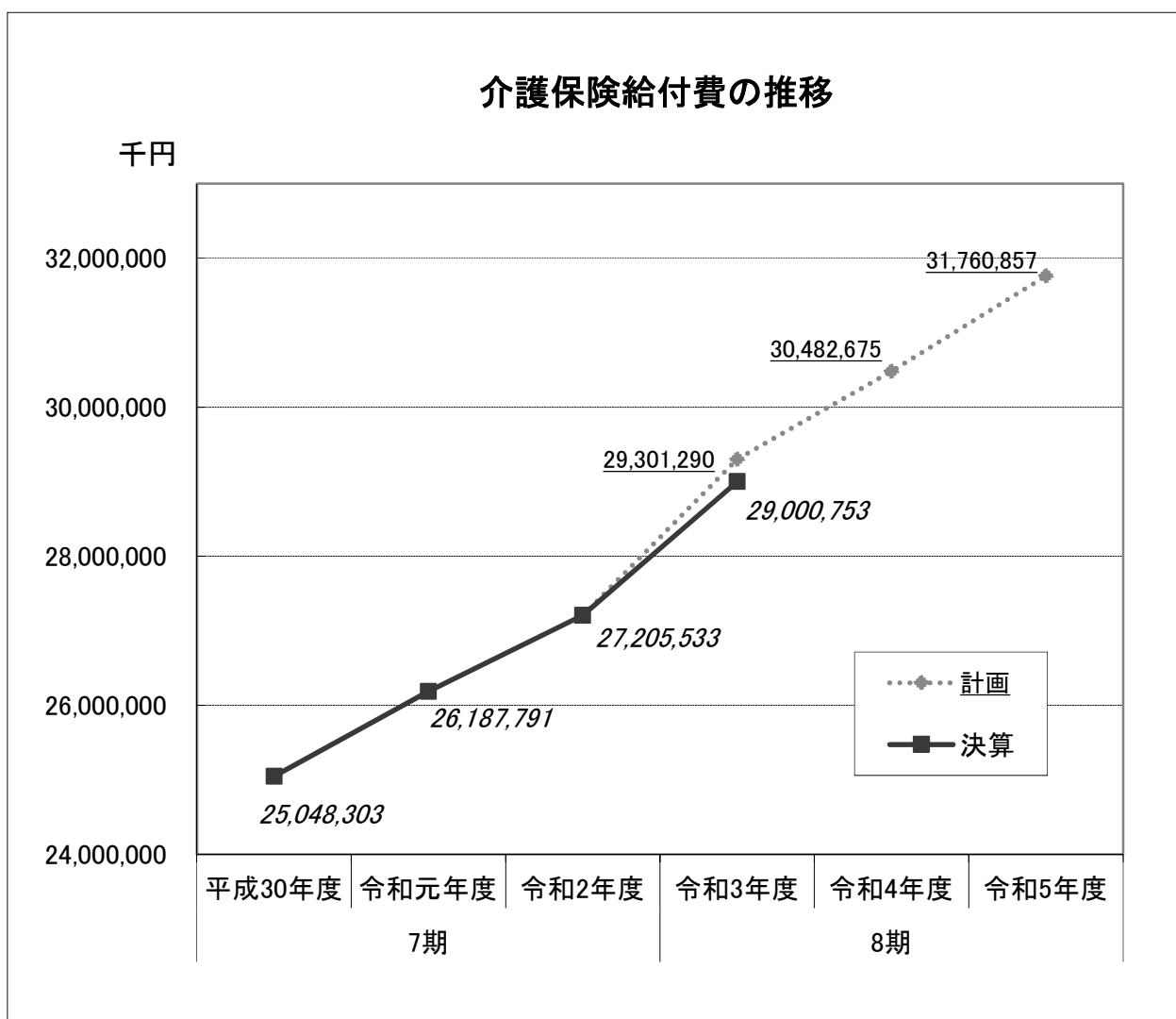
※令和3年9月末 (1号被保険者のみ)

3. 介護保険給付費について

(1) 介護保険給付費の推移

(単位：千円)

令和元年度	令和2年度	令和3年度		
実績	実績	計画	決算見込	対計画比
26,187,791	27,205,533	29,301,290	29,000,753	99.0%



(2) サービス別介護保険給付費

【介護給付費】

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績	実績	計画	実績	対計画比
(1) 居宅サービス	13,575,836	14,048,219	15,635,220	9,900,046	63.3%
訪問介護	2,868,248	3,164,388	3,555,712	2,278,270	64.1%
訪問入浴介護	80,841	104,817	109,848	83,225	75.8%
訪問看護	690,699	761,522	827,886	556,720	67.2%
訪問リハビリテーション	14,590	23,798	20,061	24,702	123.1%
居宅療養管理指導	323,967	371,740	435,925	286,907	65.8%
通所介護	4,182,600	4,145,936	4,628,677	2,910,214	62.9%
通所リハビリテーション	1,123,646	1,107,909	1,236,353	742,633	60.1%
短期入所生活介護	1,081,908	1,109,342	1,220,549	754,516	61.8%
短期入所療養介護(老健)	114,834	98,810	123,694	52,507	42.4%
短期入所療養介護(病院等)	11,194	7,556	13,792	2,472	17.9%
福祉用具貸与	750,135	798,268	877,473	560,615	63.9%
特定福祉用具購入費	29,968	31,524	32,004	20,246	63.3%
住宅改修費	81,750	72,936	83,342	49,537	59.4%
特定施設入居者生活介護	817,089	802,534	943,244	564,761	59.9%
居宅介護支援	1,404,367	1,447,141	1,526,660	1,012,722	66.3%
(2) 地域密着型サービス	3,761,838	3,816,741	4,214,172	2,587,848	61.4%
定期巡回・随時対応型訪問介護看護	76,465	107,852	156,812	97,864	62.4%
夜間対応型訪問介護	0	0	0	0	0.0%
認知症対応型通所介護	460,180	462,846	513,410	310,737	60.5%
小規模多機能型居宅介護	793,060	816,710	873,298	554,273	63.5%
認知症対応型共同生活介護	1,197,864	1,187,663	1,237,193	793,262	64.1%
地域密着型特定施設入居者生活介護	0	0	0	0	0.0%
地域密着型介護老人福祉施設入所者生活介護	657,378	669,030	715,362	452,756	63.3%
看護小規模多機能型居宅介護	0	27,657	84,646	44,613	52.7%
地域密着型通所介護	576,892	544,983	633,451	334,342	52.8%
(3) 施設サービス	6,709,137	7,075,813	7,223,604	4,754,752	65.8%
介護老人福祉施設	4,165,027	4,432,697	4,475,735	2,984,810	66.7%
介護老人保健施設	2,523,408	2,621,101	2,726,220	1,757,588	64.5%
介護医療院	8,307	18,037	17,609	12,354	70.2%
介護療養型医療施設	12,395	3,978	4,040	0	0.0%
合計	24,047,885	24,940,773	27,072,996	17,242,646	63.7%

実績値は保険者向け給付実績情報(愛知県国民健康保険団体連合会)

令和3年度実績は8か月(4月審査～11月審査)

四捨五入の関係で、合計と内訳は一致しない場合があります。

【予防給付費】

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績	実績	計画	実績	対計画比
(1) 介護予防サービス	552,384	586,619	638,907	426,890	66.8%
訪問介護 *	-	-	-	-	-
訪問入浴介護	1,236	1,514	5,247	811	15.5%
訪問看護	56,234	67,758	64,826	53,220	82.1%
訪問リハビリテーション	2,221	2,722	4,037	2,311	57.2%
居宅療養管理指導	13,222	16,610	18,133	12,936	71.3%
通所介護 *	-	-	-	-	-
通所リハビリテーション	167,550	162,348	179,926	111,873	62.2%
短期入所生活介護	8,639	7,843	8,875	4,073	45.9%
短期入所療養介護 (老健)	1,148	765	1,167	637	54.6%
短期入所療養介護 (病院等)	76	0	0	17	-
福祉用具貸与	101,287	121,876	125,481	90,597	72.2%
特定福祉用具購入費	8,179	10,534	10,330	6,329	61.3%
住宅改修費	47,661	37,943	46,543	31,371	67.4%
特定施設入居者生活介護	42,536	45,525	58,490	31,839	54.4%
介護予防支援	102,394	111,181	115,852	80,876	69.8%
(2) 地域密着型介護予防サービス	39,925	35,368	41,333	20,714	50.1%
認知症対応型通所介護	3,280	3,192	3,374	2,046	60.6%
小規模多機能型居宅介護	24,757	27,416	26,884	18,582	69.1%
認知症対応型共同生活介護	11,887	4,760	11,075	87	0.8%
合 計	592,309	621,987	680,240	447,603	65.8%

実績値は保険者向け給付実績情報（愛知県国民健康保険団体連合会）

令和3年度実績は8か月（4月審査～11月審査）

四捨五入の関係で、合計と内訳は一致しない場合があります。

* については、平成29年度中に順次あんしん介護予防事業（介護予防・日常生活支援総合事業）へ移行

4. 介護保険施設の整備状況について

(1) 介護保険施設の整備状況について（令和3年12月31日現在）

■介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

寝たきりや認知症などで、常に介護が必要で自宅での生活が難しい方のための施設。入所により、入浴・排せつ・食事などの介護、機能訓練、健康管理、療養上の世話などが受けられる。

【 16 施設：定員 1,400 人 】

■介護老人保健施設

入所者に対してリハビリテーションなどの医療サービスを提供し、家庭への復帰を目指す施設。利用者の状態に合わせた施設サービス計画（ケアプラン）に基づき、医学的管理のもとで、看護、リハビリテーション、食事・入浴・排せつといった日常生活上の介護などを併せて受けられる。

【 8 施設：定員 835 人 】

・廃止

施設名	定員	廃止年月日
介護老人保健施設 いつきの里	100 人	令和3年10月31日

・開設

施設名	定員	開設年月日
介護老人保健施設 夢眠いちのみや	100 人	令和3年11月1日

■特定施設入居者生活介護

介護保険の指定を受けた介護付有料老人ホーム、養護老人ホーム、軽費老人ホーム、サービス付き高齢者向け住宅などが、入居している利用者に対して入浴・排せつ・食事等の介護、その他必要な日常生活上の支援を行うサービス。

【 13 施設：定員 567 人 】

■地域密着型介護老人福祉施設（地域密着型特別養護老人ホーム）

定員が 29 人以下の小規模な介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

【 7 施設：定員 203 人 】

■認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）

認知症の高齢者が共同で生活する住居において、入浴、排せつ、食事等の介護、その他の日常生活上の世話、機能訓練を行うサービス。

【 24 施設：定員 414 人 】

■小規模多機能型居宅介護

通いによるサービスを中心にして、利用者の希望などに応じて、訪問や宿泊を組み合わせ、入浴、排せつ、食事等の介護、その他日常生活上の世話、機能訓練（リハビリテーション）を行うサービス。

【 18 施設：定員 491 人 】

■定期巡回・随時対応型訪問介護看護

日中・夜間を通じて、訪問介護と訪問看護が一体的にまたは密接に連携しながら、定期巡回と随時の対応を行うサービス。

【 3 事業所】

■看護小規模多機能型居宅介護

「小規模多機能型居宅介護」と「訪問看護」を組み合わせ提供するサービス。

【2事業所】

(2) 第8期介護保険事業計画における介護保険施設の整備状況について

■介護老人福祉施設（特別養護老人ホーム）

・第7期計画に基づき事業者選定済。第8期期間中に1施設（定員100名）を開設予定。

■認知症対応型共同生活介護（認知症高齢者グループホーム）

・整備計画数：1施設（定員18名）

・事業者募集期間：令和3年11月1日～12月20日

・事業者募集結果：応募あり

2月開催の介護保険施設等整備検討委員会にて選定予定

■看護小規模多機能型居宅介護

・整備計画数：2事業所

・事業者募集期間：令和3年7月1日～8月16日

※応募がなかったため、令和4年度中に再募集予定

5. 地域支援事業費について

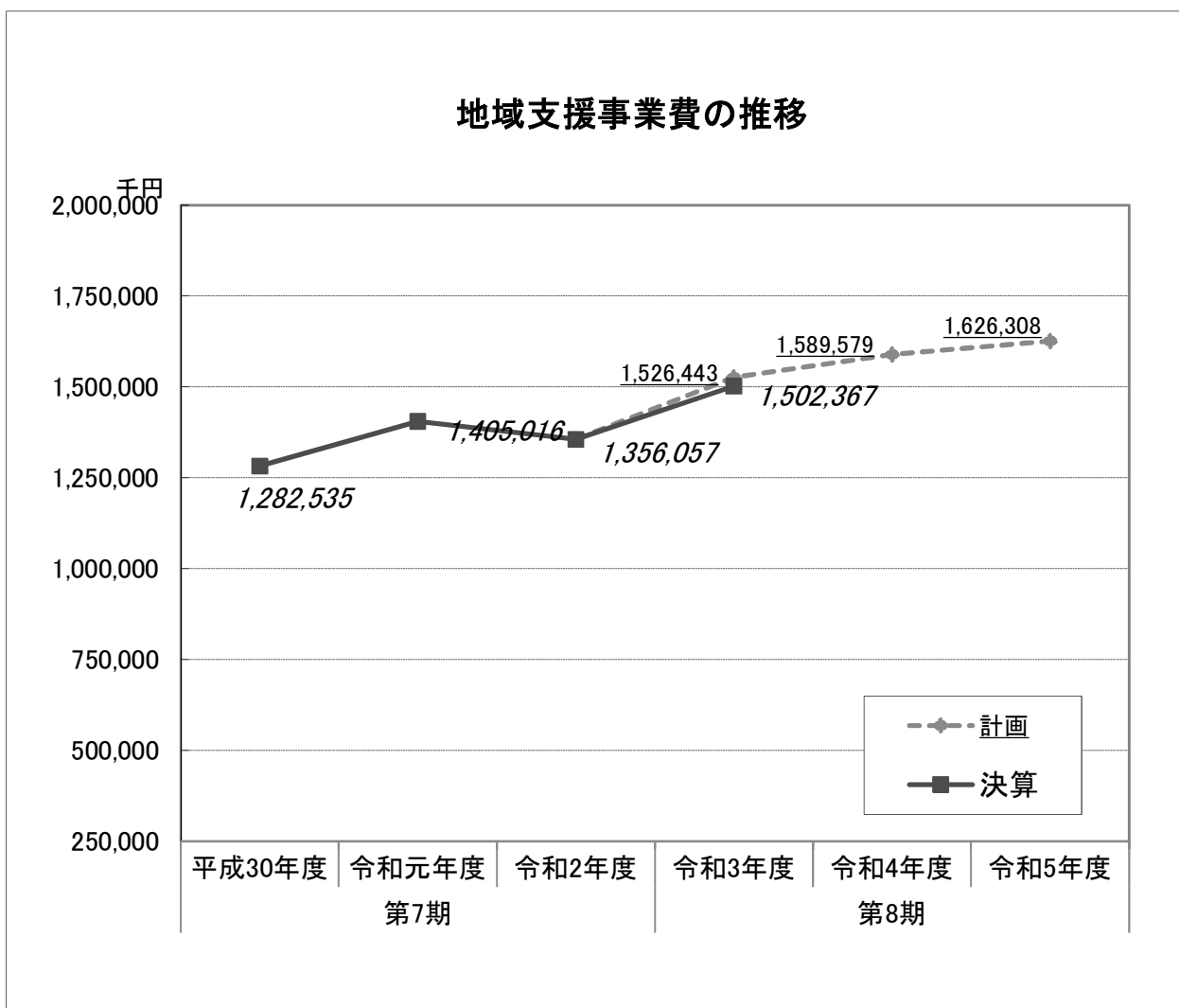
地域支援事業費の推移

(単位：千円)

	令和元年度	令和2年度	令和3年度		
	実績	実績	計画	決算見込	対計画比
地域支援事業	1,405,016	1,356,057	1,526,443	1,502,367	98.4%
介護予防事業	1,042,731	995,316	1,103,225	1,091,638	98.9%
包括的支援事業・任意事業	362,285	360,740	423,218	410,729	97.0%

※平成29年度から「あんしん介護予防事業（介護予防・日常生活支援総合事業）」開始

※四捨五入の関係で、合計と内訳は一致しない場合があります。



6. 地域支援事業

(1) あんしん介護予防事業(介護予防・日常生活支援総合事業)

ア. 介護予防・生活支援サービス事業

要支援1・2及び事業対象者に訪問型・通所型サービスを提供

6,246人(令和3年9月末現在)

【要支援1・2 4,728人 事業対象者 1,518人】

◎短期予防通所・訪問サービス		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込
運動器の機能向上事業	開催回数	108	50	120
	参加延人数	1,313	212	785
栄養改善事業	開催回数	32	20	36
	参加延人数	188	48	143
口腔機能の向上事業	開催回数	66	24	54
	参加延人数	495	92	180
認知症予防事業	開催回数	131	72	144
	参加延人数	2,345	934	1,661
うつ・閉じこもり予防事業	開催回数	343	225	
	参加延人数	2,381	552	
訪問型介護予防事業	訪問延件数	158	48	68

※令和2年2月以降新型コロナウイルス感染拡大防止のため、短期予防通所サービスの内容の変更をした。

うつ・閉じこもり予防教室は、申込者の減少と他の事業への移行により令和3年度より廃止した。

イ. 一般介護予防事業		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込
元気応援高齢者把握事業 (基本チェックリストによる把握) 下記(注1)参照	基本チェックリスト実施者数	16,421	13,696	7,532
	元気応援高齢者数	3,493	2,902	1,387
転倒予防教室 (貯筋教室)	開催回数	1,082	749	462
	参加延人数	63,025	15,599	9,896
高齢者簡単料理教室 (高齢者のための簡単料理教室 <男性専科>)	開催回数	26	0	6
	参加延人数	402	0	30
頭と体の体操教室	開催回数	24	16	14
	参加延人数	1,180	465	421

		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込
コグニバイクを使った認知機能向上事業	開催回数	49	48	0
	参加延人数	2,546	614	0
介護予防サポーター育成事業	参加延人数	92	32	97
介護予防普及啓発事業	介護予防イベント参加者数	523	0	186
	介護予防川柳応募作品数	1,025	1,220	865
地域リハビリテーション活動支援事業	出前教室回数	77	30	53
	地域ケア会議等講師派遣回数	4	7	7

(注1) 元気応援高齢者把握事業は、昨年度特定健康診査等を受診していない71歳、74歳、77歳を対象者に実施している。

※令和2年2月以降新型コロナウイルス感染拡大防止のため、一般介護予防事業について、中止や内容の変更をした。

(2) 包括的支援事業

介護予防ケアプラン作成

		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込
要支援・事業対象者	ケアプラン作成数 (3月31日現在の人数)	3,760	3,962	3,608

総合相談

		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込
総合相談	実人数	4,037	4,169	5,062
	延人数	11,794	12,717	13,683
	(再掲) 高齢者虐待対応人数	(2,110)	(1,992)	1,606
主任ケアマネジャー個別相談延件数		574	478	423

包括的継続的ケアマネジメント

		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込
地区ケアマネジャー会等開催	開催回数	12	12	9
	参加延人数	534	278	272
地域ケア会議	開催回数	31	20	22

※地域ケア会議は、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面開催、オンライン等実施方法を工夫した。

地域包括ケアシステム関連事業

在宅医療・介護連携推進事業

		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込
在宅医療・介護連携推進協議会	開催回数	1	1	1
在宅医療・介護職員多職種連携 研修	開催回数	3	2	3
	参加延人数	468	790	876
地域住民への普及啓発 (出前講座・講演会)	開催回数	32	13	16
	参加延人数	1,345	286	324

※その他、ささえiネット(ICTによる情報連携)、在宅医紹介システムの設置、市民や医療、介護関係者からの相談窓口設置。

生活支援体制整備事業		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込
生活支援体制整備推進委員会	開催回数	2	2	2
おでかけ広場	認定数(年度末)	99	99	93
ちょこっと助け合いボランティア (平成29年7月開始)	活動延件数	1170	822	675

※第1層(市全体)コーディネーターは社会福祉協議会に、第2層(各連区)コーディネーターは地域包括支援センターに委託。

地域の課題に対し買物支援として、デイサービスのバスを活用した買い物ツアーをコーディネートした。また、通いの場を支援するため、運営者の交流会や理学療法士などの講師を派遣した。

認知症総合支援事業		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込
認知症総合支援検討委員会	開催回数	2	2	2
認知症初期集中支援推進事業	訪問等延件数	310	338	283

※その他、平成28年度から認知症地域支援推進員を地域包括支援センターに設置した。推進員は医療機関や介護サービスなど地域の支援機関との連携を図るための支援や、認知症の人やその家族を支援する相談業務を行う。

認知症初期集中支援事業の訪問等延べ件数は、コロナ禍のため訪問前の聞き取り調査を丁寧に実施し、電話で家族へ助言・提案することで問題解決し、訪問にまで至っていないケースが多くあった。

(3)任意事業

		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込
家族介護用品給付事業	利用人数	206	214	208
家庭介護教室	開催回数	12	3	7
	参加延人数	266	33	103
認知症サポーター養成講座	開催回数	97	47	55
	受講者数	4,100	965	2,115
	(再掲)認知症啓発講演会 「わかってちょうよ認知症」	(312)	0	0
認知症介護家族支援教室	開催回数	6	5	6
	参加延人数	65	62	69
認知症介護家族交流会	開催回数	11	7	9
	参加延人数	141	75	75
行方不明高齢者等検索メール配信事業	メール登録数(3月31日現在)	3,433	3,873	4,260
	メール配信数	39	25	27
認知症高齢者検索支援サービス事業	年度末登録者数	42	36	57
成年後見制度利用支援事業	市長申立て件数	0	5	11
介護相談員派遣事業	相談件数	317	0	0

※令和2年2月以降新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止や内容の変更をした。令和3年度の認知症啓発講演会、介護相談員派遣事業は中止した。

7. 高齢者福祉事業報告

事業名		令和元年度	令和2年度	令和3年度 見込	
1	緊急連絡通報システム設置事業	利用台数 (年度末)	3,447	3,476	3,560
2	配食サービス事業	利用実人数	2,664	2,537	2,541
		配食延数	468,376	448,994	447,335
3	日常生活用具給付事業				
	愛の杖	給付者数	1,206	1,108	1,148
	電磁調理器	給付者数	62	74	71
	自動消火器	給付者数	9	10	0
	住宅用火災警報器	給付者数	13	22	24
4	寝具洗濯乾燥サービス事業	利用実人数	334	340	352
5	訪問理美容サービス事業	交付人数	364	297	336
6	ねたきり高齢者等見舞金支給事業	支給実人数	1,576	1,577	1,624
7	高齢者福祉施設運営事業	利用延人数	302,491	148,632	106,438
8	高齢者能力活用推進事業	登録会員数	1,052	1,029	1,022
		就業 延べ件数	10,882	10,155	10,015
9	高齢者入浴助成事業	交付人数	8,624	6,565	5,734

(参考)

	ひとり暮らし高齢者台帳	登録者数 (年度末)	5,489	5,528	5,566
--	-------------	---------------	-------	-------	-------

8. 政策目標達成のための評価指標の取組み状況

(1) 政策目標 住み慣れた地域で安心して暮らすための仕組みづくり

評価指標	令和2年度実績	令和3年度見込	令和5年度目標	説明
在宅医療・介護職員多職種連携研修開催回数	2回	3回	5回	左記研修の開催回数
認知症サポーター養成講座の累積受講者数	31,365人	33,480人	37,000人	認知症の人と家族を支えるためのサポーターを養成する講座の累積受講者数
地域包括支援センターへの相談者数	4,169人	5,062人	4,100人	地域包括支援センターに相談した人数

(2) 政策目標 高齢期をいきいきと過ごすための介護予防と生きがいづくり

評価指標	令和2年度実績	令和3年度見込	令和5年度目標	説明
転倒予防教室開催回数	749回	462回	1,100回	左記教室の開催回数
地域リハビリテーション活動支援事業の派遣回数	37回	60回	100回	地域ケア会議や地域の通いの場などにリハビリ職等を派遣した回数
地域の高齢者が出かけたい通いの場の数	261か所	296か所	300か所	高齢者が気軽に参加できるおでかけ広場やふれあい・いきいきサロン、地域の通いの場など通いの場の数

(3) 政策目標 介護ニーズに対応するための介護保険事業の充実と適正化

評価指標	令和2年度実績	令和3年度見込	令和5年度目標	説明
地域密着型サービス施設（事業所）数	54か所	54か所	57か所	地域密着型特別養護老人ホーム、認知症対応型共同生活介護、（看護）小規模多機能型居宅介護、定期巡回・随時対応型訪問介護看護の施設（事業所）の整備数
ケアプランの点検	357件	530件	800件	ケアプランの点検件数
住宅改修等の点検	129件	130件	140件	住宅改修や福祉用具購入及び貸与の点検件数

全国その他との比較

参考資料

活用データ名・ 指標名	指標 ID	単位	備考	データの値																			
				一宮市				愛知県平均				全国平均				比較地域 (岡崎市)				比較地域 (大津市)			
				H30	R1	R2	R3	H30	R1	R2	R3	H30	R1	R2	R3	H30	R1	R2	R3	H30	R1	R2	R3
人口	A-1	人	見える化・時系列 (各年度年報)	379,956	379,652	379,347	378,242	/	/	/	/	/	/	/	/	384,863	386,132	387,405	388,042	341,741	341,997	342,254	341,916
高齢化率	A-2	%	見える化・時系列 (各年度年報)	26.6	26.9	27.3	27.4	24.7	25.1	25.4	25.6	27.9	28.4	28.9	29.1	22.9	23.4	23.8	24.1	26.0	26.5	27.0	27.3
認定率	B4-a	%	見える化・時系列 (各年度年報)	15.7	16.0	16.4	16.8	16.4	16.6	16.9	17.1	18.3	18.4	18.7	18.8	15.7	15.6	15.5	15.7	18.2	18.5	18.9	19.0
調整済み認定率	B5-a	%	見える化・時系列 (他地域と比較) (各年度年報)	17.3	17.3	17.5	/	17.6	17.7	17.9	/	18.3	18.4	18.7	/	17.3	17.3	17.2	/	19.1	19.4	19.8	/
調整済み重度認定率 (要介護3~5)	B6-a	%	見える化・時系列 (他地域と比較) (各年度年報)	6.0	6.0	5.9	/	5.9	5.9	5.9	/	6.3	6.3	6.4	/	5.2	5.2	5.2	/	6.5	6.7	6.7	/
調整済み軽度認定率 (要支援1~要介護2)	B6-b	%	見える化・時系列 (他地域と比較) (各年度年報)	11.3	11.4	11.6	/	11.8	11.8	12.0	/	12.0	12.1	12.3	/	12.1	12.1	12.0	/	12.7	12.7	13.1	/
受給率 (施設サービス)	D2	%	見える化・時系列 (各年度年報)	2.2	2.3	2.3	2.2	2.4	2.4	2.4	2.5	2.8	2.8	2.9	2.9	2.3	2.3	2.3	2.3	2.2	2.1	2.2	2.2
受給率 (居住系サービス)	D3	%	見える化・時系列 (各年度年報)	0.8	0.8	0.8	0.8	1.0	1.1	1.1	1.1	1.3	1.3	1.3	1.3	1.0	1.0	1.0	1.0	1.2	1.2	1.2	1.2
受給率 (在宅サービス)	D4	%	見える化・時系列 (各年度年報)	9.9	10.0	10.3	10.5	9.2	9.4	9.6	9.7	9.8	9.9	10.1	10.2	8.7	8.7	8.9	9.0	10.7	11.0	11.0	11.2
受給者1人あたり給付 月額(在宅および居住 系サービス)	D15-a	円	見える化・時系列 (各年度年報)	131,458	132,805	137,216	136,274	130,374	131,032	135,237	134,660	128,829	129,416	133,682	132,552	125,385	126,375	131,226	130,349	130,221	130,245	136,200	131,321
受給者1人あたり給付 月額(在宅サービス)	D15-b	円	見える化・時系列 (各年度年報)	124,938	126,522	131,168	130,156	121,159	121,551	125,939	124,678	118,025	118,274	122,661	121,175	116,076	116,760	122,248	120,532	119,353	119,133	123,965	120,044
受給者1人あたり給付 月額(訪問介護)	D17-a	円	見える化・時系列 (各年度年報)	97,262	103,996	107,334	111,103	88,006	93,730	97,175	97,175	68,919	73,422	76,125	76,254	65,653	72,220	75,833	77,462	72,795	78,935	82,458	78,117
受給者1人あたり利用 日数・回数(訪問介護)	D31-a	回	見える化・時系列 (各年度年報)	37.5	39.2	40.3	41.5	30.6	32.1	33.3	33.1	24.0	25.1	26.1	25.9	22.9	24.5	25.8	26.5	25.5	27.5	28.5	26.7
受給者1人あたり給付 月額(通所介護)	D17-f	円	見える化・時系列 (各年度年報)	88,229	90,999	96,113	94,924	87,762	91,001	96,578	94,576	81,668	85,002	90,395	87,716	90,898	95,128	103,860	98,428	78,665	82,805	87,159	85,389
受給者1人あたり利用 日数・回数(通所介護)	D31-e	日	見える化・時系列 (各年度年報)	11.8	11.9	12.6	12.6	11.2	11.4	12.1	11.9	10.7	10.9	11.6	11.4	11.9	12.2	13.2	12.7	9.9	10.1	10.7	10.5
受給者1人あたり給付 月額(地域密着型通所 介護)	D17-t	円	見える化・時系列 (各年度年報)	83,462	93,930	95,326	91,253	77,219	81,671	86,864	85,331	73,781	77,098	81,420	78,873	79,257	79,674	87,000	84,174	76,283	78,882	82,562	81,260
受給者1人あたり利用 日数・回数(地域密着 型通所介護)	D31-j	回	見える化・時系列 (各年度年報)	10.9	11.9	12.4	12.1	9.9	10.1	10.9	10.6	9.5	9.7	10.3	10.0	10.2	10.1	11.3	10.9	9.5	9.6	10.2	9.9
受給者1人あたり給付 月額(短期入所生活介 護)	D17-h	円	見える化・時系列 (各年度年報)	100,105	111,786	117,404	117,376	90,936	101,630	105,745	103,935	96,163	108,505	112,459	110,073	76,504	85,629	91,372	88,862	80,000	88,545	89,323	93,665
受給者1人あたり利用 日数・回数(短期入所 生活介護)	D31-g	日	見える化・時系列 (各年度年報)	12.1	13.0	13.5	13.6	11.0	11.9	12.3	12.1	11.7	12.9	13.3	13.0	9.5	10.3	10.9	10.7	8.9	9.5	9.6	10.1
受給者1人あたり給付 月額(認知症対応型共 同生活介護)	D17-q	円	見える化・時系列 (各年度年報)	246,485	248,215	249,061	254,158	256,288	259,377	262,904	271,334	253,116	256,464	260,827	263,846	249,554	253,042	251,128	262,502	261,879	265,458	268,814	268,744

※人口・高齢化率については、国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口」における数値。令和3年度の認定率は令和3年9月末現在、受給率・給付月額等は令和3年7月の実績値。